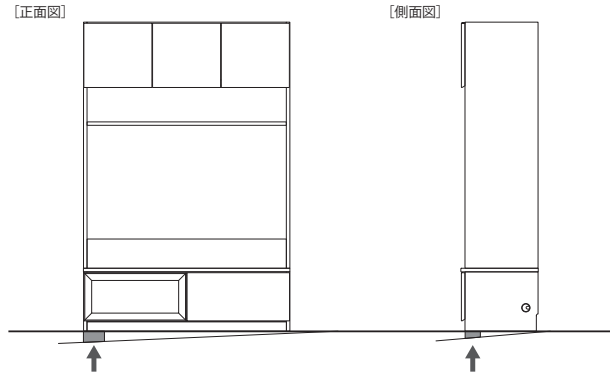


このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店様までお尋ねください。
組立・設置の前に必ず「安全上のご注意」及びこの「商品マニュアル」をお読みのうえ、正しくお使いください。

設置について キャビネット設置時の水平調整

キャビネット設置時には家具が水平になるように調整をおこなう必要があります。

設置する場所によっては微妙な傾斜がありますので、家具にねじれが発生し扉や引出しの隙間が揃わない場合がございます。設置した際に扉や引出しの隙間が大きく出ている場合には、床面の傾斜が大きい可能性があるため、家具が水平になるように調整をおこなってください。

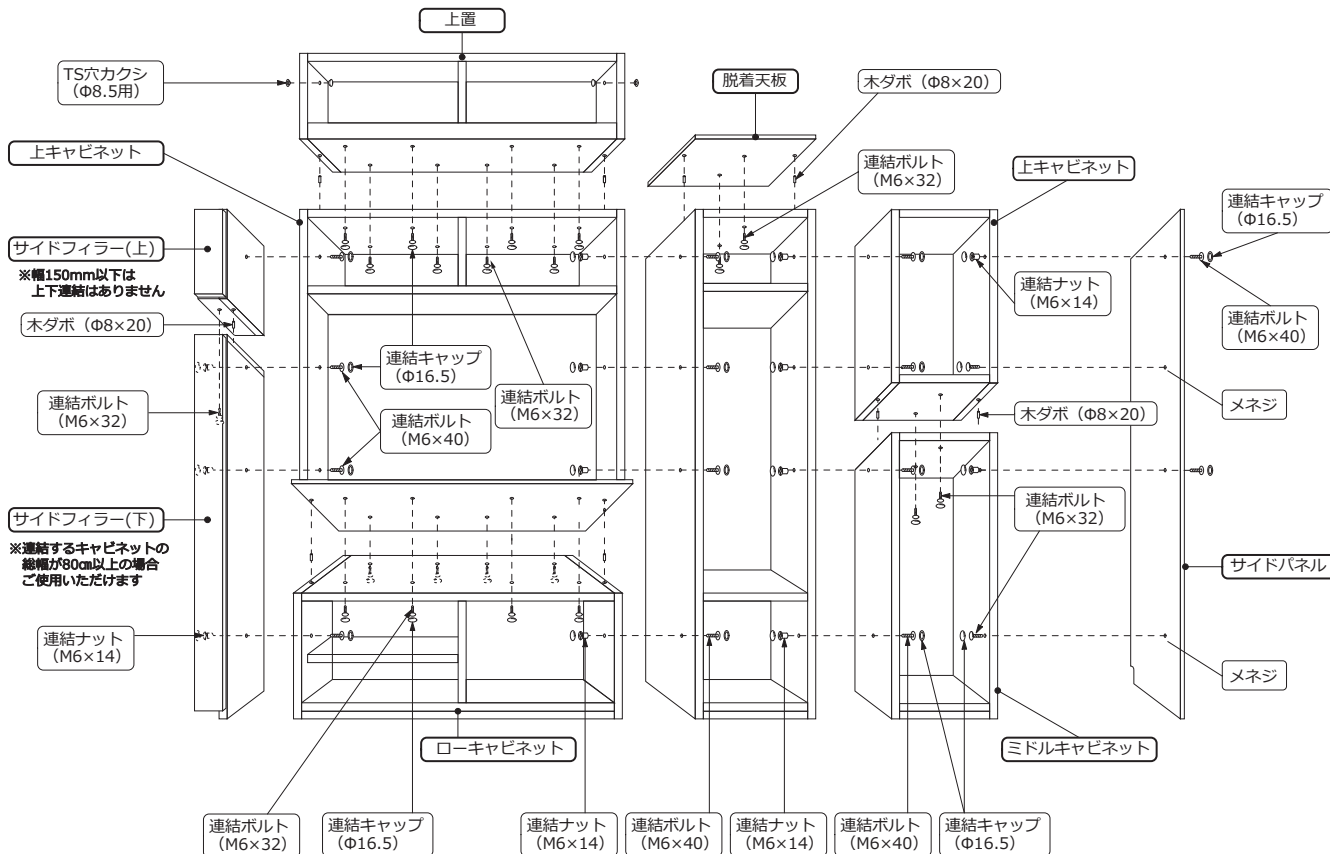


調整には「硬い板材」や「紙」などを使用してください。
必ず2人以上で作業をおこなってください。

キャビネットの連結方法

お手数ですが、キャビネットの連結を宜しくお願い致します。必ず、2名以上で行ってください。

壁面タイプ



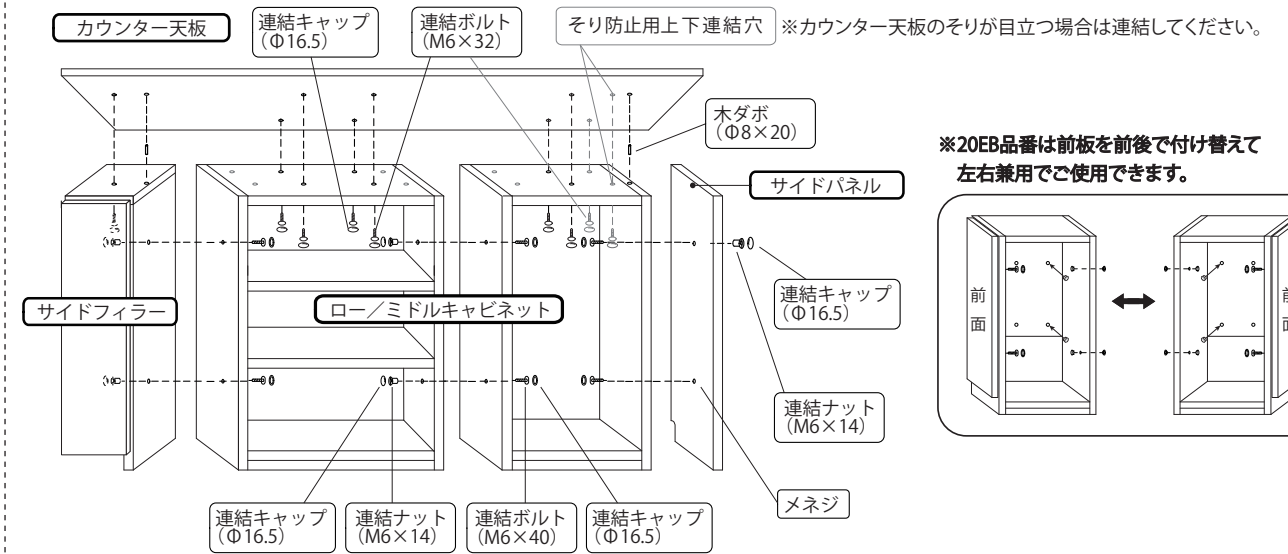
上下キャビネットの連結方法

- ①下キャビネットの両側に位置合わせのための「木ダボ」を差し込みます。
 - ②下キャビネットの「木ダボ」に合わせて上キャビネットをのせます。
 - ③下から「連結ボルト」をドライバーでしっかりと締め付けます。
 - ④連結の必要がない連結穴には「穴カクシ」を取り付けます。
- ※上置・脱着天板・サイドボックス・サイドフィラーも同様の手順です。
※TG/KW品番はLED取付板を貫通して天板から上下連結します。
上下連結後、付属穴かくし(Φ20)を取り付けてください。

キャビネットの左右連結方法

- ①左右のキャビネットを、連結穴の位置が合うようにセットします。
 - ②「連結ボルト」と「連結ナット」を左右から取り付けて、ドライバーでしっかりと締め付けます。
連結がしづらい時は引出しを取り外してください。
引出しの取り外し方は、本紙裏「引出しの取り扱い方法」をお読みください。
 - ③「連結ボルト」と「連結ナット」の頭部に「連結キャップ」を取り付けます。
 - ④連結の必要がない連結穴には「穴カクシ」を取り付けます。
- ※上置・サイドボックス・サイドフィラー(下)も同様の手順です。

ロー／ミドルタイプ



※20EB品番は前板を前後で付け替えて左右兼用で使用できます。

左右連結方法

上記、壁面タイプ同様に行ってください。

カウンター天板の連結方法

- ①キャビネットの両側に位置合わせのための「木ダボ」を差し込みます。
2台以上のロー／ミドルキャビネットを組み合わせる場合は両端部だけに差し込んでください。※サイドパネルの上下小口には穴がありません。
- ②下キャビネットの「木ダボ」に合わせてカウンター天板をのせます。
- ③下から「連結ボルト」をドライバーでしっかりと締め付けます。
引出しの取り外し方は、本紙裏「引出しの取り扱い方法」をお読みください。

そり防止用上下連結穴

カウンター天板のそりが目立つ場合、キャビネット内天板端部に取り付けられている穴かくしを取り外してカウンター天板の対応穴と上下連結してください。
2台以上のキャビネットを組み合わせる場合は左右のキャビネット両端部から連結してください。
※40幅以上のキャビネットにそり防止用上下連結穴を設定しています。(サイドボックスは除く)
そり防止用上下連結穴対応連結ボルト、連結キャップはカウンター天板の方に付属します。
※上部に設置するのが別注カウンター天板の場合、下のキャビネットの組み合わせで端に30幅以下のキャビネット／サイドフィラー／サイドボックスが来るときは天板のそり防止用上下連結穴もなくなります。

サイドパネルの左右連結方法

- サイドパネルの左右連結穴はヌキ穴の箇所とメネジを取り付けている箇所が混在しております。
- ①左右のキャビネットを連結穴の位置が合うようにセットしてください。
 - ②ヌキ穴部は「連結ナット」と「連結ボルト」を左右から取り付けてドライバーでしっかりと締め付けてください。
 - ③サイドパネルにメネジを組み込んでいる箇所は隣キャビネット内側から「連結ボルト(6×32)」を取り付けてドライバーでしっかりと締め付けてください。
※連結ボルトの長さにご注意ください。
 - ④「連結ボルト」の頭部に「連結キャップ」を取り付けます。

サイドフィラー(上)の左右連結方法

- サイドフィラー(上)の左右連結穴はすべてメネジを取り付けています。
前板が固定されていますのでサイドフィラー内側からは左右連結できません。
- ①サイドフィラー(下)とキャビネットを左右連結してください。
 - ②サイドフィラー(下)とサイドフィラー(上)を上下連結してください。
※サイドフィラー(上)の左右連結が終わるまで、手を離さないでください。
 - ③隣キャビネット内側から「連結ボルト(6×32)」を取り付けてドライバーでしっかりと締め付けてください。
※連結ボルトの長さにご注意ください。
 - ④「連結ボルト」の頭部に「連結キャップ」を取り付けます。

[AB]

取り扱い方法 三段引き出し

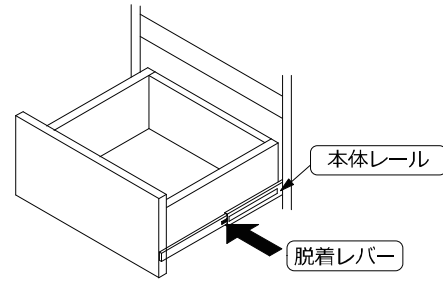
取り外し方法

レール側面に黒い脱着レバーが左右両面にありますので、両面のレバーを押ししたままの状態、引出しを水平に引き抜いてください。

取り付け方法

本体レールを全て押し込んだ状態で引出しを元の位置へ水平に差し込み、同時に押し込んでください。

※引出しは必ず同時に押し込んでください。斜めの状態ですと、引出しが正常に機能しなくなり、引出しの取り外しができない可能性があります。



取り扱い方法 開き戸

開き戸蝶番の調整方法(上フラップ扉も同様に調整できます。)

開き戸の蝶番にはアルミフレームと板扉共に、[ブルム社製]を使用しています。下図を確認のうえ、対応した調整をおこなってください。

扉の前後調整方法	扉の左右調整方法	扉の上下調整方法
<p>調整可能範囲 ±2mm</p>	<p>調整可能範囲 ±2mm</p>	<p>調整可能範囲 ±2mm</p>
<p>前後調整ネジ 脱着レバー</p>	<p>左右調整ネジ 脱着レバー</p>	<p>上下調整ネジ 脱着レバー</p>
<p>① [前後調整ネジ]をゆるめます。 ② 扉を前後に動かします。 ③ [前後調整ネジ]をしめます。</p>	<p>① [左右調整ネジ]をまわして扉の位置を調整します。</p>	<p>① [上下調整ネジ]をまわして扉の位置を調整します。 ※ネジは扉のスレ防止のため固くなっています、大きめのドライバーで調整をおこなってください。</p>

板扉用蝶番 ソフトクローズ機能のON/OFF調整方法

ソフトクローズ機能のON/OFF方向

扉の開閉

板扉用蝶番のみの機能です。アルミフレームには付属しておりません。扉の閉まる速度が気になる方は調整してください。

- ・扉側にスイッチを動かすとソフトクローズ機能ON
- ・側板側にスイッチを動かすとソフトクローズ機能OFF
- ・スイッチを切り替えた後、扉を一度開閉してください。機能が切り替わります。

ドアバンパーの貼り付け

◎扉の内面2ヶ所にドアバンパーを貼り付けてください。(透明なクッション材)

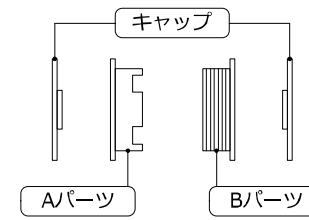
※ほこりを拭き取ってから貼り付けてください。

※プッシュオープン式の扉には貼らないでください。押ししろがなくなり扉が開かなくなる可能性があります。



取り扱い方法 両面配線孔

パーツ構成



●部品袋に一体型で梱包されている両面配線孔を取り出し、左図のように各パーツを分けて使用します。
Aパーツは固定用、Bパーツは取り外し用となります。

! 最下部に引出がついているキャビネットは内側に配線孔を取り付けられません。キャビネットを挟んで配置する場合、配線孔は使用しないでください。

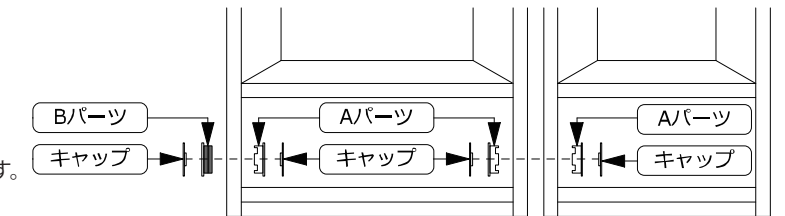
取り付け方法

◎キャビネットの左右連結時は、各本体内側にAパーツを取り付け、キャップをして完成です。一部の品番は中板にも使用します。同様に取り付けてください。

◎左右連結をしない場合は本体内側にAパーツを取付け、外側にBパーツをして完成です。

※内側にAパーツを取り付ける際、必ず最後まで押し込んでください。レールや内箱と干渉する原因となります。

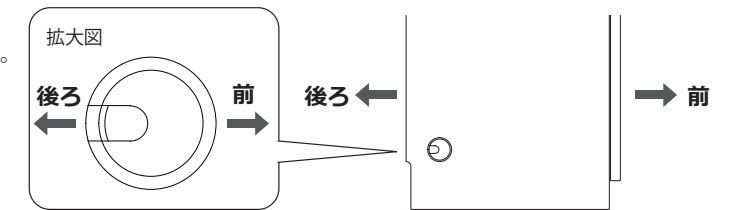
※外側のBパーツはキャビネットが壁に密接する場合、取り付けずに使用できます。



! キャビネット内部にコードを通す際、必ずゆとりを持った長さでご使用ください。コードが突っ張った状態ですと、コードとレールが干渉する恐れがあります。

取り付けの向き

◎内側、外側の配線孔共に、後ろ方向に開口部分が向くように取り付けてください。
※正しい向きで使用しないとコードとレールが干渉する原因となります。



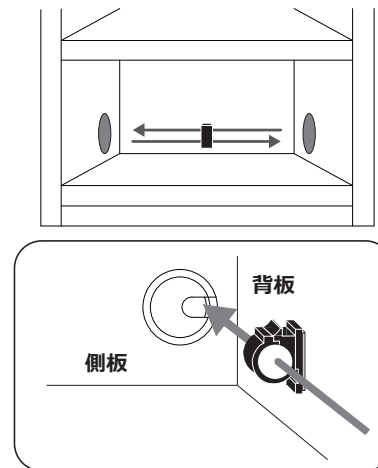
取り扱い方法 ケーブルクリップ

最下部に引出がついている品番にはコード通しの補助のためのケーブルクリップが付属しています。

◎内引き出しを外し、背板の中央付近に左右配線孔と平行になるようにケーブルクリップを貼り付けてください。

◎ケーブルクリップにコードを通してご使用ください。

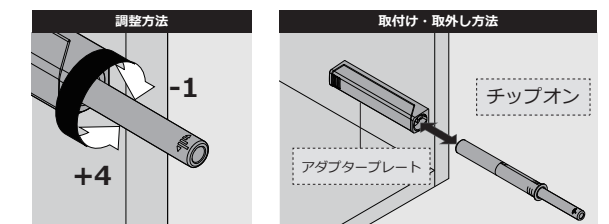
※コードとレールが干渉する可能性がありますので必ずケーブルクリップをご使用ください。



取り扱い方法 チップオン(プッシュラッチ)

扉は軽く押すだけで簡単に開き、適度な角度まで開いて止まります。扉を押しても開かない場合は、チップオンを左右に回して調整してください。面付けと埋込み式の2種あります。下図は面付けの図ですが、埋込み式も同様の調整方法です。

- ・左に回すとチップオンが前に出てきます。
- ・右に回すとチップオンが引き込まれます。
- ・調整は+4 / -1 mmの範囲で可能です。
- ・チップオンをアダプタープレートに取付け、取外しができます。



※似たような機構でダンパータイプ(ソフトクローズ機能)のものもあります。そちらには調整機能はありません。不具合の場合は、引き抜いて交換してください。